

今学期も残すところ1週間となりました。この大切な時に台風が梅雨前線を運んで来てお日様が雲隠れ、更に突然とインフルエンザが猛威をふるいはじめて休園を余儀なくされてしまいました。実に残念でした。お日様が顔を出してくれ、こどもたち歓声をあげて水あそびに夢中になるようすを思いうかべて、来週に期待しております。

■継続は力なり!と云われますが、この1学期に、1日15分から30分と言う短い時間でしたが、こどもたちはドリル・体の力・心の力の面で大きな成長を觀せてくれております。

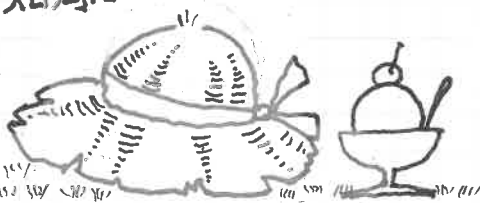
■ちびこまのりの食券は、つぼみのご家庭には本日と来週お届けです。どうぞ確認ください。園児のご家庭には、終業の日にお届けします。

(おまのり当日忘れずに!!)

こどもたちひとりひとりから如何に

「やる気」と云うか意欲を引き出す事を大切な役目としているスタッフたちの

日頃の努力が実ったと納得する反面、良くもそれに応じてくれたこどもたちに頭が下がります。とて素晴らしい、2学期へ向けて更なるやる気を持ちました。



■昨年度に引きつぎ担任1人制を実施

して、フリーのスタッフを14名、それぞれが常にこどもたちの現況やこれからを見据えての対応をとって来ました。大きな実りを觀せております。

子育てに太陽のリズムを

『育児で最も大切なポイントは、最初の5年間の我慢と根性でしょう。と角こどもを8時迄に寝かせ、朝7時迄に起すと言うリズムを根性で優先させて欲しいのです。それ以外は生きていさえすれば良し...と考えて』と云っているのは小児科医で発達脳科学者の成田奈緒子先生です。

手の込んだごはんではなくても死にさえしなければ納豆ごはんを済ませてさっさと寝かそう!! と言う思考回路を親が持つだけで、こどもの生活は変わり、シンプルですと云っております。

確かに母親にとって子育てが楽になる方法ですね。

このくり返しくり返しの刺激でこどもの「からだの脳」がしっかり育って行けば、5歳になると頃は夜は勝手に眠くなり、朝は自分で目覚めて空腹を感じ、朝食をとって学校へ行き、学校の刺激で「お利口な脳」が育つのですと云っております。手のかからない子ですね。

『早ね 早おき 朝ごはん!!』という標語がありますがこれがピッタリの生活です。

すなわち、こどもの生活は太陽のリズムと一緒に!! と言う事なんですね。

とても大切な子育ての道です。♪